



真 練 怒

会田中学校だより No.8
令和6年11月25日
〒399-7402松本市会田8923
Tel 0263-64-2020
Fax 0263-64-2974

地域の皆さんとの交流

小中焼き芋交流会

10月30日(水)に四賀小学校の全校の皆さんと会田中生全員での交流会。昨年からは始まり、第2回目になります。

朝8時20分に中学校を出て、四賀小学校へ向かいました。そこで縦割り班で10班に分かれ、異なる年齢の児童生徒と一緒に行動しました。まず、四賀小の皆さんが作ったお芋と一緒にアルミホイルでまいて焚き火(コミュニティスクールの委員の方にもお手伝いいただきました)に焼べ、焼き芋ができあがるまで小学校の校庭で中学生が準備してきたレクリエーション(鬼ごっこ、借り人競争、ジャンケン列車)をして楽しく過ごしました。おなかをすかせた後、焼き芋を班ごとでおいしくいただきました。

生徒の皆さんの表情には、小学生を優しく見守る優しさや久しぶりに小学校に戻ったうれしさが溢れていました。小学生の元気の良さや活発さに一瞬戸惑いながらも対応している生徒もいました。声を積極的にかける姿も至る所で見られ、充実した交流会になりました。小学生の皆さん、ごちそうさまでした。

<生徒の感想から>

- ・安納芋の焼き芋が食べられて美味しかった。これを食べると、他の焼き芋を食べられないなと思いました。小学生と楽しく遊べて、日頃の疲れが癒されました!
- ・交流会で、中学生として楽しむところは楽しみ、上級生として引っ張る部分はリーダーシップを発揮することができました。また、来年も全員が楽しめるような企画を考えていきたいです。

四賀コンサートに出演しました

10月26日(土)に四賀コンサートに全校生徒の有志(40人弱)が参加しました。小学生4~6年生と一緒に歌った「東風吹く野辺に花の咲く」と全校合唱で歌ってきた「空も飛べるはず」の2曲をオーケストラの方々に伴奏をさせていただいて合唱しました。オーケストラの素晴らしい伴奏でとても気持ちよく歌うことができ、他ではできない貴重な経験となりました。36回も続くコンサートに出演することで四賀地域の文化と伝統に触れると共に、情操教育の観点からも生徒の皆さんにとって大切な時間となりました。

校内・校外での活動

生徒会正副会長選挙

11月14日(木)に来年度生徒会の正副会長選挙立会演説会と投票がありました。選挙前には教室訪問を各候補者が行い、各クラスからの質問に答えました。立会演説会に臨んだ候補者の皆さんからは緊張の中にも現3年生から生徒会を引き継ぐ強い意志を感じました。

1年生アルプスタディ

アルプスタディは生徒の学習経験の拡大を図り、教育文化センターを学びの起点としてもらおうと松本市が企画しています。11月12日(火)に1年生が行き、天文学習(プラネタリウム)や旧山辺学校校舎学習、プログラミング、学都松本探求(上高地の花崗岩)などの学習をしました。学校では学ぶことのできない充実した学習の時間となりました。

11月是人権月間です。

11月は本校の人権月間です。全校で一斉に人権学習の時間を確保したり、講演会でお話をお聞きしたり、交流会をしたりと多くの学習を行っています。今年は、人権講演会があったり、校長先生の全校道徳授業もあったりと、盛り沢山の内容でした。

全校：人権講演会

11月1日(金)に四賀地区人権啓発推進協議会の研修としてより多くの方に聞いていただこうと中学校を会場として参観日の日に人権講演会が開かれました。松本大学の学生の皆さんを講師としてお迎えし、「平和を考える特別授業」として太平洋戦争の県内外の人たちの話を聞き取り、記録したことの中からお話をさせていただきました。写真を見せていただいたり、クイズ形式のやり取りもあったり、今からは考えられない当時のお話をさせていただく中で戦争とは何か？何を私たちは感じ行動していかななくてはならないのかを問われた時間となりました。



<生徒の感想から>

- ・戦争中は長野県も空襲を受け、飛行場があったことにも驚きました。疎開してきた人がいじめを受けたことについても驚きました。
- ・二度と同じ過ちを繰り返さないように戦争を語り継がなければいけないと思いました。戦争について詳しく知っている人と話す機会はないので、大学生の皆さんからたくさんお話を聞けて良かったです。

全校道徳「健二の迷い」～他学年の意見を聞き合う～



「健二の迷い」という資料を使い、カンニングしてしまった友達のことを先生に言うべきか言わないでおくかを全校で考えました。

最初の1時間はクラスで資料の読み取りを中心として自分の意見を決めました。次の週の2時間目。校長先生が授業者となり、全校で授業をしました。1時間目の意見を基に全校を縦割りのグループ分けをし、グループ内での話し合いをしたり、登場人物の役になりきって演じる中でどういう会話が行われたかを発表し合ったり、反対の意見を聞いたりする中で自分事として深く考える姿が多くありました。

<生徒の感想から>

- ・僕は言わない班で班の人と考えを共有しました。気になる「言う」班の人の意見もしっかりと聞きました。(中略)僕が思うに(授業で発言した)Aさんは登場人物の気持ちに置き換えて話しているのだと思いました。人それぞれ「自分をどこにおいて考えるか」によって意見はそれぞれ違うのだと思いました。

他にも、全校での性の多様性講座、1学年は車椅子体験学習、2学年は多様な性についての学習、3学年は地域の方々とのふれあい健康教室に参加、と人権授業を進めてきました。このように多くの学びの場を設け、様々な考えに触れることが自分を認め、他人も認めることにつながり、今後の人生をより豊かにすることにつながると 생각합니다。私たち教員も研修に勤しみながら、今後も学習を進めていきます。

